



# 書館便り

1月号

## 江戸の町はどんなところ？

今月は、江戸時代をテーマにした本を紹介します。町人やお殿様になった気分で江戸時代の雰囲気を想像しながら読んでみてください。



### ●『いろは判じ絵』



岩崎均史／著 青幻舎（分類：721）

江戸時代、庶民に大流行した絵で見るなぞなぞ「判じ絵」。江戸に住む人々にとって浮世絵は身近で手軽な存在だったようです。浮世絵師が趣向を凝らした珍問・難問には遊び心がたっぷり詰まっています。頭文字を手がかりに江戸の庶民と知恵比べしてみましょう。



### ●『しやばけ』

畠中恵／著 新潮社（分類：913）

長崎屋の若旦那は、心優しく賢い青年です。でも病弱で寝込んでしまうことも少なくありません。そんな若旦那を見守り、支えているのはクセの強い妖たち。若旦那の所に迷い込んでくる事件の解決に彼らが一役買います。



この作品はシリーズ1作目で、最初の版が刊行されたのは今から20年前です。



マークの本は図書館にあります。

2021年1月発行 株式会社リブネット編集

### ●『再現江戸惣菜事典』

川口はるみ／編集 東京堂出版（分類：596）

江戸時代の料理書から再現した家庭料理向きのお惣菜レシピ約100点を紹介しています。「異国ゆば」「鳥賊のかびたん和え」など、料理の名前も興味をひきます。著者によると、江戸時代の天ぷらは串ざしで「てんぷらり」とよばれ、ファスト・フードのようなものだったそうです。



### ●『実は科学的!? 江戸時代の生活百景』



西田知己／著 東京堂（分類：210）

電気もガスもなかった江戸時代。人々はより豊かな生活を送るために毎日知恵を絞っていました。巨石の運び方、けがの治療、髪の洗い方、日差し対策など理科の目線でアプローチできる事柄が、当時の図版とともにたくさん紹介されています。

### おしらせ



### 1月の図書館

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30
	★	★	★	★	★	★

- 今年度（11月末まで）緑丘中図書館でいちばん読まれた本は、『進撃の巨人空想科学読本』柳田理科雄/著 講談社 でした！
- 冬休み借出の本は、1月9日（土）までに返してください。

★の日に図書館スタッフが来ています。